

第2期勝山市地方創生総合戦略



「第2期勝山市地方創生総合戦略」
進捗状況について

No	施策名	担当課	内容・実績(令和4年度)	課題と対応策(令和5年度以降)	委員の意見
1	地域の自然や景観、歴史・伝統・文化の保存・保護活動を支援	商工文化課	<ul style="list-style-type: none"> ・市民総合大学「勝山の歴史」講座を計8回実施。 ・史跡白山平泉寺旧境内、市指定文化財ミチノフクジュソウなどので地域住民が主体となる清掃活動等への広報や支援を実施。 ・「勝山市文化財保存活用地域計画」で各地域にある文化財リストを作成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民総合大学では、アンケート等から今後の講座テーマや知り得たい歴史について検討したい。また、ジオパークの視点がなかったことから、講座全体の見直しを図りたい。 ・清掃活動等に参加した子どもたちが次の探求活動に活かしているのが課題。参加した学校と連携・協力して子どもたちの探求活動に連動できるように仕組み作りを検討する。 ・文化財リストにもとづき、所在確認や「史実」「伝承」などの区分を明確にする課題があり、地区と連携しながら地域の文化財について再確認調査を行う。 	
2	地域住民主体のコミュニティ活動を支援	総務課	<p>地域が主体となったまちの活性化を目指す事業等に対して、にここ地域づくり交付金を交付する事業を開始した。【申請実績=3地区】</p>	<p>にここ地域づくり交付金の活用方法について地域だけに任せるだけでなく、まちづくり会館職員、地域担当職員等が十分にバックアップを行うことにより、より目的に沿った交付金の活用ができるような体制づくりの構築をめざす。</p> <p>(1)補助金交付要綱の改正(適切な交付金執行のため) (2)まちづくり会館職員・地域担当職員との情報の共有、連携強化に努める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・にここ地域づくり交付金要綱では使途の方向性の明記がない経緯に至った経緯をご教授願いたい。 ・実際の様な個別事業が地区全体としてのまちづくり計画となっているのかご教授願いたい。 ・しっかりと方向性を示し今後各地区が自ら考え・計画できる体制に導くことも重要と考えられる。
3	地域内外との連携促進および外部人材の活用	商工文化課	<p>外部人材と企業や地域等の連携においては、まずは受入れ側のスキルアップが必要であるため、外部人材の受入れに備えた企業や市民向けのハブ人材育成やヒアリング力・思考力の向上を目的とした研修会を開催した。【勝山づくり人創造推進事業開催実績 市民参加者150名】</p>	<p>引き続き市民向けの研修を継続して行うことで、外部人材の受入れに対するスキルの向上を図る。</p>	
4	コミュニティ活動の拠点となるまちづくり会館を設置	総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習以外に、福祉、防災、健康など分野を問わず活動できるよう、市立公民館に代わって「まちづくり会館」を設置。管轄を教育会館から市長部局へ移行。 ・野向地区はR4よりNPO法人まちづくりのむきの会が指定管理者として「野向町コミュニティセンター」を運営(他に北谷地区が指定管理) 	<p>公民館の新しい形態について、会館職員や住民の意識改革が課題。防災活動やまちづくりの取組みに向けて、地域の拠点として業務内容等について検討していく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の少子化等を考えると既存のまちづくり会館の老朽化や立地条件等を考慮してまちづくり館と小学校の複合化を目指し、教育環境の向上と地域コミュニティとの接点を作成し、維持コストの低減を図ってはいかがでしょうか
5	ジオパークを生かした住民主体の活動を支援	商工文化課	<ul style="list-style-type: none"> ・市民向けのジオパーク講座、ジオサイトを活用した自然体験観察会を実施した。【ジオパーク講座4回実施 自然体験観察会6回実施】 ・市民自らがジオサイトを保護・保全し活用する活動に対し恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク魅力活用事業補助金にて支援した。【申請件数2件】 	<p>市民向けのジオパーク講座、ジオサイトを活用した自然体験観察会について引き続き、実施する。ジオパーク講座について地球科学的部分と歴史・文化的講演を含めて実施するよう検討する。</p>	

重要業績評価指標



指標名	項目	令和3年度(基準値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	実績推移グラフ	達成度	委員の意見
地域コミュニティの活性化を担うNPO 法人数	目標値	—	目標年次までの期間に3 組織以上						判断時期未到来	
	実績値	1	2							
市民アンケートにおける地区で行う「祭事や祭礼などの伝統行事」に参加している人の割合(積極的に参加、ときどき参加の合計)(%)	目標値	—	—	60	—	—	65		判断時期未到来	
	実績値	56.1	—	—	—	—	—			
市民アンケートにおける市が主催する「ジオパークに関する講座や自然体験活動」に参加している人の割合(積極的に参加、ときどき参加の合計)(%)	目標値	—	—	6	—	—	10		判断時期未到来	
	実績値	3.3	—	—	—	—	—			
中学生へのアンケートにおける「地域の歴史や文化を受け継ぐための活動」に無関心な人数の割合(%)	目標値	—	—	50	—	—	40		判断時期未到来	
	実績値	61.0	—	—	—	—	—			


政策目標 2

持続可能な集落を創る

No	施策名	担当課	内容・実績(令和4年度)	課題と対応策(令和5年度以降)	委員の意見
6	行政協力員制度および行政区の見直し	総務課	従来どおりの行政協力員の配置を実施した。	持続可能な集落を目指して、現状の行政協力員の業務見直しと平行して、行政区の新しいあり方を検討していく。	・持続可能な集落を目指して、現状の行政協力員の業務見直しと平行して、行政区の新しいあり方を検討していく。とありますが具体的に見直しのご教授願いたい
7	最適な規模の行政区の構築	総務課	従来どおりの行政協力員の配置を実施した。	持続可能な集落を目指して、現状の行政協力員の業務見直しと平行して、行政区の新しいあり方を検討していく。	
8	集落の活動拠点の整備を支援	総務課	地区公民館施設整備費補助事業において、地区公民館の新築・改修にかかる工事費等を助成した。 事業費の30%以内、上限200万円補助 【8件 計1,702,536円を交付】	令和5年度も引き続き当該補助事業を継続。必要があれば福井県コミュニティ助成事業もあわせて活用していく。	

重要業績評価指標

達成  未達成  判断時期未到来 

指標名	項目	令和3年度(基準値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	実績推移グラフ	達成度	委員の意見
最適な規模に見直した行政区の数	目標値	—	目標年次までの期間に10 地区以上						判断時期未到来	
	実績値	—	0							



政策目標 3

住民主体の新しいくらしを創る

No	施策名	担当課	内容・実績(令和4年度)	課題と対応策(令和5年度以降)	委員の意見
9	地域内交通の構築	未来創造課	令和5年1月25日より北郷地区及び野向地区向けのコミュニティバス路線でフルデマンドバスの運行を試験的に開始した。	より多くの市民の方にとって便利なバスを目指すため、フルデマンドバスに関するアンケートを実施し、住民の意見を反映するほか、利用人数等の実績から他地域でのフルデマンドバスの実施を検討する。	・フルデマンドバスに関するアンケート実施結果をご教授願いたい。また、現在は電話による予約だと思うがその他の方法を検討する予定がないかもご教授願いたい。
10	地域の暮らしを支える共助活動を支援	総務課	・地域の共助組織への除雪機の貸出に対応するため、中型除雪機を購入し市役所に配備した。 【配備実績 10台】 ・大雪時の除雪活動を支援した。 【支援実績 5組織 8回】	より多くの除雪活動を支援するため、積雪前に周知を行う。	・除雪活動の支援について、対象地区をご教授願いたい。ロータリー式除雪機は使用できる場所が限られてしまう。ロータリー除雪機以外の貸与などを検討することは無いのかご教授願いたい ・道路にはみ出した木の枝に関する規制についても周知する必要もあると考えますがいかがでしょうか

重要業績評価指標

達成  未達成  判断時期未到来 

指標名	項目	令和3年度(基準値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	実績推移グラフ	達成度	委員の意見
公共交通(コミュニティバス)の利用者数(人/年)	目標値	—	80,000 以上						未達成	
	実績値	46,756	54,662							
市民アンケートにおける地区で行う「消防・防災訓練」に参加している人の割合(積極的に参加、ときどき参加の合計)(%)	目標値	—	—	42	—	—	50		判断時期未到来	
	実績値	—	—							

政策分野

2つの「創る」 まちの楽しさを創る



政策目標1

多彩な交流によるにぎわいとつながりを創る

No	施策名	担当課	内容・実績(令和4年度)	課題と対応策(令和5年度以降)	委員の意見
11	地域資源の磨き上げおよび活用	商工文化課	勝山左義長の調査を継続している。コロナ禍明けの開催で、どのような課題があるのかの聞き取り調査を実施した。また、地域資源の磨き上げとして、市内の小学校からの出前授業を5回、文化財施設を利用した現地案内を6回行い、学校教育のなかで文化財を活用したESD教育に協力した。合わせて、日本遺産の未来の語り部として平泉寺小学校の活動に積極的に協力した。日本遺産のガイド養成としては、認定講座基礎編・応用編・スキルアップセミナーを開催した。応用編では現地研修を追加することによって、ガイド能力の磨き上げを行った。	勝山左義長では担い手不足や休止後の再開での不明な点が発生する等の課題を認識できた。今後、地域住民にどのような支援ができるのか検討していく。小中学校への取り組みは、ジオパークなどとの連携や、市域の全小学校への広がりを取り組めなかったため、改善していく。また、日本遺産の未来の語り部事業が市内に波及していくような取り組みや研修を設けていく。ガイド要請はガイドに対するスキルアップ講座のため、一般への参加周知には至らなかった。今後は、一般からガイド受講へと繋がっていくような講演会等を検討したい。	
12	情報発信の強化および交流の活性化	総務課	・各種公式SNSを活用して情報発信を行った。(フォロワー数はR5.2月末現在) 【公式Twitter】 ※主にイベント情報など告知に活用 (フォロワー数 1,043) 【公式facebook】 ※主に学校や市民活動などの紹介に活用 (フォロワー数 1,783) 【公式LINE】 ※主にワクチン接種や健診予約、ごみ分別等の情報、防災メニュー全般、イベント情報などの告知に活用 (お友達数 9,909) 【公式Instagram】 ※主に市内の観光地など見どころの紹介に活用 (フォロワー数 1,879) 【公式youtubeチャンネル】 ※主に定例記者会見や市民意見交換会などの紹介に活用 ・福井勝山観光ナビなど外部サイトと連携しながら、恐竜関連やゆめおーれなど地域資源を体験できる場の情報発信を行うとともに、関係部署と協力し、地域資源を体験できる場・機会の創出、紹介した。	情報発信を行う媒体が広報紙(月2回)、公式ホームページ、公式SNS(5媒体)と複数になり、情報を届ける相手先が多様になっている。本来広報PR活動については、中長期的な方針に基づいて一貫性のある取り組みを行うことで効果が発揮されるものであることから、各種広報媒体の特徴を踏まえた広報戦略を持ち、一貫性のある情報発信を行っていく必要がある。	・情報発信を行う媒体が広報紙(月2回)、公式ホームページ、公式SNS(5媒体)と複数になり、情報を届ける相手先が多様になっている、とありますがすべて総務課が担当しているかご教授願いたい。また、5媒体に対して個別に発信情報を投稿しているのかご教授願いたい。
13	関係人口の創出および担い手の育成	商工文化課	・移住者スカウトサイトを活用した関係人口の受入れ及び受入れプログラムの検証を実施した。【勝山づくり人創造推進事業開催実績 移住者スカウトサイトリアクション数20名、プログラム(イベント)参加者数100名】 ・外部人材の受入れに備えた企業や市民向けのハブ人材育成やピアリング力・思考力の向上を目的とした研修会を開催した。【勝山づくり人創造推進事業開催実績 市民参加者150名】	市民向けの研修を継続して行うことで、外部人材の受入れに対するスキルの向上を図っていく。また、移住者スカウトサイトでの受入れプログラムについては、興味はあるもののリアル開催への参加が難しいとの声をいただいているため、より、研修を受けた市民が活躍できる場の提供などにフォーカスして事業を行う。	
14	関係人口との関わりを強化	商工文化課	・市民や市内企業、個人事業主を中心とした市民参加型のプレイヤー育成学習会を開催し、外部人材を講師にまちづくりに関することをテーマとしたワークショップを行った。【勝山づくり人創造推進事業開催実績=参加者数100名】 ・2拠点従事者等の受入れに興味のある企業対し、都市部で活躍する人材を講師とした受入れに対する課題解決などのサポートを行った。【勝山づくり人創造推進事業開催実績=参加企業2社】	育成学習会に参加した市民の機運をより高めるため、市民が関係人口と共にまちづくり活動を実践できる場の充実を図る。	
15	ジオパークを生かした連携を強化	商工文化課	高校との連携を進めるため、ジオツアーの募集について周知した。(1名参加)	高校での探求活動としてジオパークを取り入れてもらうための連携体制の構築について検討する。	

重要業績評価指標

達成  未達成  判断時期未到来 

指標名	項目	令和3年度(基準値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	実績推移グラフ	達成度	委員の意見
県外市外から外部人材を招聘して実施した地域づくり活動数	目標値	—	3	4	5	6	7		達成	
	実績値	2	3							
人のマッチングを行うネットワークの設立数	目標値	—	目標年次の期間までに3 ネットワーク以上						判断時期未到来	
	実績値	—	1							

政策目標 2




やりたいことに挑戦できるまちを創る

No	施策名	担当課	内容・実績(令和4年度)	課題と対応策(令和5年度以降)	委員の意見
16	各種団体・グループなどの自主的活動を支援	未来創造課	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドファンディングに必要な手数料とクラウドファンディングで取り組みたいイベントの開催事業に対し補助金を交付する事業を開始した。【わくわくクラウドファンディング支援事業 申請実績=3件(内1件は令和5年度に実施)】 ・若者グループや地域で活動する女性グループなど、市民が主体的に実施する幅広いジャンルの新規まちづくり事業に対し補助金を交付する事業を開始した。【ちよいチャレ応援事業 申請実績=16団体】 	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの市民に、わくわくクラウドファンディング支援事業やちよいチャレ応援事業を活用してもらえるような取組みを、次のとおり実施する。 <ol style="list-style-type: none"> (1)補助金交付要綱の改正(補助対象事業の拡充) (2)補助金制度の周知 (3)市民が主体となるよう団体構成員の市民割合を拡大 (4)多くの団体が利用できるように申請団体の構成員の見直し 	
17	学習環境・機会の充実	未来創造課	<ul style="list-style-type: none"> ・さわやか大学へ委託し、高齢者の学習できる機会を提供した。 ・市民総合大学講座を開設した。(前期 28講座 延べ2,012人受講、後期 28講座 延べ1,556人受講) ・多種多様な学習機会の提供と、幅広い世代の学習環境づくりを目指す生涯学習センター「友楽喜」の管理運営を行う(R4 11,702人) ・豊富な知識と技能を有する市民を「勝山市生涯学習人材バンク」に講師として登録し、市民の自主的な学習活動を支援した。(人材バンク登録者数37名(R5.4.1現在)) 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン講座を設け、市民のより身近なまちづくり会館で受講できるようにする。 ・多くの市民が参加できるよう、生涯学習センターだけでなく、まちづくり会館や市民交流センターで講座を開催する。 ・従来の講座を見直し、多様な講座の開設を実施する。 	
18	伝統文化、文化芸術活動の振興と継承を支援	未来創造課	<ul style="list-style-type: none"> ・市民総合文化祭、地区文化祭の委託 ・市民及び市内文化団体の日頃の芸術文化活動成果を発表する場を提供することで、勝山市の文化芸術振興を推進した。 ・第41回福井県市町文協選抜美術展が令和4年9月に勝山市で開催され、運営補助を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左義長まつりのお囃子練習会を実施し、市内外に練習生を広く募集する。 ・市総合文化祭に多くの人が訪れ、文化芸術に親しむことができる機会を創設することができるよう、開催方法を工夫する。 	
19	高齢者の活動を支援	健康体育課	<ul style="list-style-type: none"> ・勝山市高齢者連合会及び老人クラブの活動に対して補助を行った。補助対象32クラブ 会員数1,160名。 ・地域いきいきサポーター養成講座1回、スキルアップ講座1回実施。地域いきいきボランティアポイント事業 登録73名 ポイント引換者56名。 ・介護予防教室や認知症施策において、ボランティアが活動できる場づくり、新規の活動者が生きがいをもって取り組めるよう務めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者連合会及び老人クラブの会員数が減少し、休会となるクラブが増加している。広報誌での老人クラブ活動に関する周知や、各地区まちづくり会館、コミュニティーセンターと連携し活動の支援を行う。 ・新規の活動者が少ないため、より多様な活動内容を提供したり、活動しやすい仕組みづくりを検討する等、新規の活動者を増やしていくことが必要である。より多くの高齢者が生きがいをもって生活し、心身の健康を維持できるように支援していくことが求められる。 	
20	高齢者と若い世代の交流を支援	健康体育課	<ul style="list-style-type: none"> ・9月に開催されるふくい健康長寿祭にてスティックリング競技の世代間交流の部の参加を呼びかけ、高齢者と若い世代の交流の機会の創出を図った。参加チームなし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者と若い世代が交流する場や機会が少ない。引き続き健康長寿祭への参加を呼びかけるとともに、高齢者と若い世代が交流する場の実践例について情報収集を行う。 	
21	障害者の尊厳と多様性が受け入れられる社会の構築	福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者生活支援センターにて、地域活動、就労支援等の内容も含めた相談活動を実施し、その内容によっては関係機関と連携・協議した。【述べ相談件数:2003件】 ・障がいのある方がだれでもいつでも来られる場所として「たまり場カフェ」を提供した。【延べ129名利用】 ・福井県総合防災訓練(10/8実施)にて福祉避難所を開設した。障がいのある方及びその支援者が、避難方法、避難所の状況を体験することで、災害の対応、適切な支援について学ぶ機会となった。【参加者26名(障がいのある方(要支援者)、支援者(ヘルパー等))】 ・奥越地区障害者自立支援協議会は、障害者週間中(12/9実施)に、かじ惣前で障害のある方に対する「差別解消法」や「虐待」等について、障害者と共に啓発活動を行った。 ・市広報で年2回、障害に関する内容を掲載した。【障がい者虐待、障がいに関する相談窓口案内:11月号、成年後見制度:12月号】 	<ul style="list-style-type: none"> ・勝山市障害者生活支援センターで地域活動、就労支援の相談を受け、関係機関と連携をする必要はあるが、障害者施設の人手不足は深刻であり、就労等の障害者支援のための相談員の確保が困難になりつつある。 ・障害者施設の人手不足解消策の一つとして、市独自の人材確保奨励金制度を創設し実績もあるが人手不足解消には至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者施設の人手不足解消策の一つとして、市独自の人材確保奨励金制度を創設とありますが、どのような制度でしょうか。(リーフレット等があれば、いただきたい。)また当該制度をどのように周知・広報しているのでしょうか。 ・既に、実施されているのかもしれませんが、広く制度を周知・広報する観点から、リーフレット等を関係機関に配付してはどうか。

No	施策名	担当課	内容・実績(令和4年度)	課題と対応策(令和5年度以降)	委員の意見
22	多様性を生かす社会の構築	未来創造課	<ul style="list-style-type: none"> ・パートナーシップ宣誓制度の導入に向け、制度の概要についてまとめたハンドブックを作成した。 ・性の多様性に関する職員研修会(7月:109名、3月:参加者61名)、市民向け講演会(11月:参加者62名)を開催した。 ・多様な性を尊重する社会の実現をめざし、男女共同参画及び多様な性を尊重する社会づくり推進条例を改正した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月から、パートナーシップ宣誓制度をスタートした。(福井県内では、越前市に続いて2番目)今後は、パートナーシップ宣誓制度の周知を図っていく。 ・定期的に、市民向け講演会や職員研修会を実施し、パートナーシップ宣誓制度や性の多様性の周知を図る。講演会や研修会への参加者の継続的な確保が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢や性別の多様性はよく書かれていますが、多様な国籍の方に対しては、どのような活動を行っているのでしょうか？勝山市内に住んでいる外国人の方の、国籍別の人数等も教えて頂けるのであれば教えてほしいです。
23	創業へのチャレンジを支援	商工文化課	勝山商工会議所主催で6月に5回に及び創業塾を開催。13名参加。創業塾以外でも個別に創業支援を行い、1事業者の創業につながる。	今年度も創業塾を開催し、フォローアップを行う。創業塾に参加できなかった事業者に対しても、個別支援を行う。	
24	ジオパークに関する情報発信を強化	商工文化課	恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークの情報についてSNSにて随時発信すると共に広報にて定期的にジオパークコラム、クイズを掲載し、情報発信を行う。	恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークに関する情報発信について、継続して嫉視すると共に、市内外のイベント等での情報発信を行う。	

重要業績評価指標

達成 
 未達成 
 判断時期未到来 

指標名	項目	令和3年度 (基準値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	実績推移グラフ	達成度	委員の意見
市民アンケートにおける市が主催する「市民総合大学」に参加している人の割合(積極的に参加、ときどき参加の合計)(%)	目標値	—	—	6	—	—	10		判断時期未到来	
	実績値	2.2	—		—	—				
市民アンケートにおける市が主催する「文化・芸術に関するイベント」に参加している人の割合(積極的に参加、ときどき参加の合計)(%)	目標値	—	—	15	—	—	20		判断時期未到来	
	実績値	8.7	—		—	—				
認定創業支援等事業計画に基づく創業者数(件)	目標値	—	目標年次までの期間 毎年3件以上						未達成	
	実績値	3	1							

政策分野

4つの「守る」 子育て・教育




政策目標Ⅰ

安心して結婚・出産・子育てができるまち

No	施策名	担当課	内容・実績(令和4年度)	課題と対応策(令和5年度以降)	委員の意見
25	結婚・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援の実施	こども課	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚相談を毎週木曜日に実施するとともに、婚活イベントを開催した。【結婚相談件数:91件 婚活イベント実施回数:1回】 ・気がかり児の対策として、保育カウンセラーと一緒に市内各園を巡回訪問し、相談を行った。【年3回】 ・保険診療外の不妊治療にかかった費用への助成を実施した。【不妊治療費助成件数:15件 助成額:1,985,000円】 ・子宮頸がん予防ワクチンの積極的受診勧奨を再開するとともに、受診勧奨を控えていた期間に未接種である年代の女子に対しキャッチアップ接種を実施した。あわせて、定期接種の対象年齢を超えて自費で接種した方の費用の償還払いを行った。【償還払い申請者数:16名】 ・乳児健診未受診者への電話での受診勧奨を実施し、3歳児健診において、目の屈折検査を導入し、精密検査受診票を発行した。【乳児健診受診率:98.9~100% 幼児健診受診率:100%】 	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚支援について、国の補助制度等を活用するなかで、従前からの施策から脱却し、オンライン相談会や若年世代向けのライフデザインセミナー実施など新たな対策の実施を検討する。 (1)地域少子化対策重点推進交付金の活用による新規施策の実施 ・子育て世代包括支援センターを教育委員会こども課内に設置し、保健師・助産師・看護師・社会福祉士・保育士の各専門職による相談体制を整え、結婚・妊娠・子育ての切れ目のない支援を実施する。 (1)妊娠届の受理、妊婦面談を行いながら、「出産・子育て応援金」の助成を行う。あわせて、 ・伴走型支援として妊娠8か月面談や妊婦教室を実施する。 (2)保健・教育・福祉分野と連携しながら、5歳児就学前相談会の内容を検討し実施すること により、就学前の支援の充実を図る。(実施時期や内容の検討。保育士のスキルアップに に向けたTASPの学習会実施等) ・不妊症に対する支援を強化させるため、不妊治療費助成の充実を図る。 (1)上限の撤廃、保険診療治療・不妊症検査を助成対象として追加 ・予防接種の受診勧奨の継続及び乳幼児健診における受診勧奨と受診後の支援の継続。 	
26	地域社会における子育て支援の実施	こども課	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターにおいて、保健師と連携しながらの子育て相談を実施。【利用人数:1,710名 相談件数:149件】 ・5歳児を対象として、市民課(生活環境係)と連携して交通安全教室を実施。【年2回】 ・園児の戸外活動時における危険個所の把握。【随時】 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターにおいて、「パパとあそぼう」講座を毎月1回(計12回)実施し、父親の子育てに係る支援を図る。 	
27	子育て家庭への支援の実施	こども課	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ禍以降、開催を控えていた育児教室・離乳食教室を再開し、感染対策に配慮した育児相談の実施により母親の育児期の孤立の予防に努めた。 【子育て教室参加率:35.4% 離乳食教室参加率:45.0%、相談件数:134件】 ・要保護児童対策協議会を中心として要保護児童の状況を把握・管理しながら、相談・支援を随時実施。 【児童虐待に関する相談件数:262件 ケース検討会:22件】 	<ul style="list-style-type: none"> ・要保護家庭への支援として、保健師や助産師と連携し、家庭訪問等を随時行う。 ・児童相談所とのケース会議(児童虐待など案件ごとの対応策の検討会議)をこれまでの年間4回実施から6回に増やし関係機関と協働して援助方針を立てる体制を強化する。 	
28	幼児教育・保育環境の充実	こども課	<ul style="list-style-type: none"> ・幼小接続協議会を実施し、小学校教諭との情報交換など連携を密にした。 【年2回開催】 ・幼児教育推進委員会保育士部会については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施ができなかった。あわせて、幼児教育・保育支援事業の一環として実施を予定していた研修会についても同様に実施することができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全保育園・認定こども園を対象として、英語と触れ合う機会を提供する。 (1)ALTを活用した英語と触れ合う機会の提供 ・幼児教育の質の向上に向けた指導体制の整備を行う。 (1)教育監とともに市内各園を訪問し、保育士との意見交換を実施 ・市内全園の共通指針となる勝山市版「幼児教育・保育方針」を策定する。 (1)幼児教育推進委員会園長部会において、勝山市版「幼児教育・保育方針」を検討・策定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、就学前のこどもの保育・幼児教育はすべて私立保育園/こども園が担うこととなりますが、公立保育園、公立幼稚園が閉園になったタイミングでの、各私立こども園の受け入れ態勢はどのように想定されているのでしょうか？ ・幼児保育・教育をすべて民間に委託するにあたり、行政として民間の園に対するなんらかの補助や助成はあるのでしょうか？もしあるとしたらどのような内容でしょうか？

重要業績評価指標

達成  未達成  判断時期未到来 

指標名	項目	令和3年度 (基準値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	実績推移グラフ	達成度	委員の意見
市民アンケートにおける「出産支援体制の充実」に満足している人の割合(満足、どちらかといえば満足の合計)(%)	目標値	—	—	25	—	—	30		判断時期未到来	
	実績値	18.8	—		—	—				
市民アンケートにおける「子育て支援の充実」に満足している人の割合(満足、どちらかといえば満足の合計)(%)	目標値	—	—	34	—	—	40		判断時期未到来	
	実績値	28.6	—		—	—				
市民アンケートにおける「若者の出会いの場の創出や結婚相談事業の充実」に満足している人の割合(満足、どちらかといえば満足の合計)(%)	目標値	—	—	10	—	—	15		判断時期未到来	
	実績値	4.6	—		—	—				

政策目標 2


新しい時代を生き抜く力を育おまち

No	施策名	担当課	内容・実績(令和4年度)	課題と対応策(令和5年度以降)	委員の意見
29	子どもが自ら学び、考え、実践する学校教育の推進	教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1台タブレットを学習ツールとして効果的に活用した授業研究を進めた。協動的な学びにより深い学びが実現している。 ・夏季休業中に全教職員を対象にした授業改善全体研修会を行った。児童生徒1人1人を大切にしたい不登校の未然防止に取り組む重要性について学んだ。また、意識調査の結果をもとにした、授業改善や学年・学級での取組について学期に1回振り返る機会を設けた。 	できるだけ多くの学びの方法を知ることにより、自分にあった学び方(個別最適な学び)の充実を図り、児童生徒がより主体的に学びを進めることができるよう支援していく。学習環境の土台とも言える、安心した学校生活を送ることができるように、居場所づくりと絆づくりをより一層充実させていく。	
30	「ふるさと創生」の担い手を育成するESDの推進	教育総務課	各学区にある地域の題材(ジオパークや文化財等)を活用し、勝山市他課との連携を図りながら、ふるさとの宝や身の回りの環境について調べたり、学んだりしたことを、勝山市の魅力として発信する活動を行った。発信の手段として、ふるさと魅力発信推進事業であるふるさと福井CMコンテストへの参加を行い、勝山市の魅力について積極的にPRした。また、ジオパーク学習の一環として、豪雨災害にも触れ、気候変動に目を向けるきっかけとなった。	身近な課題から視野を広げる活動へ発展させることができていない。勝山市の魅力を発掘・発信し、持続可能性について学ぶだけでなく、世界的な視点で課題解決ができるよう支援していく。そのためにも、勝山市他課のみならず、外部機関との連携をさらに充実させていく必要がある。	
31	安全性と快適性、教育の効率性が高い施設・設備を充実	教育総務課	各学校からの要望及び点検で確認された修繕箇所については予算に応じて随時修繕を実施している。施設の改修が必要な部分については優先度をつけ計画的に実施している。令和4年度については主に老朽化した設備の改修及び取替工事を実施した。	引き続き各学校からの要望及び点検で確認された修繕箇所については予算に応じて随時修繕を実施していく。令和5年度には国庫補助を利用した外壁の改修工事を実施するほか、体育館高天井照明のLED化を2箇所実施し、快適な学習環境に向けた改修と省エネルギー化に向けた設備の更新実施する。今後、大規模な改修が必要な施設があるため、優先度をつけ計画的に修繕・改修を実施していく必要がある。	

No	施策名	担当課	内容・実績(令和4年度)	課題と対応策(令和5年度以降)	委員の意見
32	学校の再編統合にあわせた特色ある教育の推進	教育総務課	<p>1. 勝山市立中学校建設基本計画の策定 ①令和3年度末に「勝山市立中学校再編計画」が決定したことから、学識経験者や保護者、関係団体、学校等の代表を中心とした準備委員会及び各専門部会、ワーキングチーム会議を設置して協議・検討を行い、校舎の基本計画(案)概要版を作成した。 ②基本計画(案)概要版をもとに市議会への説明およびPTAを初めとする市民説明会(中高の教職員、市民、中高生、PTA、各地区の保護者)やパブリックコメントを実施し、年度末に勝山市立中学校建設基本計画を策定した。 2. 準備委員会・専門部会の運営 ・専門部会(総務部会、学校運営部会、施設整備部会、PTA部会)を設置し協議をした。準備委員会は各専門部会からの意見を取りまとめ、方針等を決定した。 3. ワーキングチーム会議の運営 ・現場の教職員を中心に編成した委員が、専門部会に係る検討・協議事項を話し合い、現場の立場から意見を出し考えをまとめた。</p>	<p>【勝山市立中学校建設基本計画の推進】 ①「勝山市立中学校建設基本計画」の決定を踏まえ、準備委員会及び各専門部会で引き続き新中学校の教育内容等の協議・検討を進める。 ②プロポーザル方式により設計業者を選定し、新校舎や地下通路等の基本設計・実施設計を進める。 ③再編準備委員会との進捗状況に関して市議会に説明するとともに、PTAをはじめ、市民や教職員、生徒へ周知し、意見や要望等を踏まえた具体的な検討を進める。</p>	
33	図書館機能の充実	未来創造課	<p>・市民のニーズに合わせた資料や情報の整備については、市民からのリクエストを受け、県内の他市町等の図書館から図書を借受けたり、図書購入の際の参考とした。また、季節や社会事案に沿った企画を毎月更新等することにより、資料や情報の整備をして利用者の興味を引くような工夫をした。 ・ブックスタートの実施については、定例の毎月第3木曜日午前中に加え、参加者の都合により定例以外の日時に実施したり、未参加者には、通知を再送する等参加者増加の促進をした。学校図書館整備の支援を実施については、主に図書の新規登録及び廃棄を中心に実施した。 ・はたや記念館ゆめおれ勝山との連携については、共催できるような行事について検討した。まちづくり会館との連携については、団体としての登録を行い、長期間の貸出しを可能とし、まちづくり会館の職員が選書する際の参考となるベストリーダーを送付した。</p>	<p>社会情勢や生活に役立つ題材をテーマとして関連図書の特集や庁内関係課と連携し政策や業務に関連した企画を実施する。また、ワンストップで問題解決や生活に役立つ図書のレファレンスにも応える。このような図書館の特性を生かしながら市民のニーズを捉え、資料や情報を整備し、図書館を本に親しむ空間として利用促進する。さらに様々な集会行事を実施して魅力ある図書館となるよう事業の推進に努める。ブックスタート事業・図書館や子育て支援センターでの乳幼児向けの読み聞かせなど対面式でのアプローチにより低年齢から本と触れ合う機会を設けるとともに学校図書館の支援、こども園・学校・まちづくり会館などへの団体貸出・情報共有など関係機関との連携により乳児から高齢者まで切れ目のないサービスを提供する。はたや記念館ゆめおれ勝山との連携については、共催で行事を実施する。</p>	
34	家庭、地域、学校、行政が連携した市民総ぐるみの青少年健全育成活動の実施	教育総務課	<p>・各地区かつやまっ子応援ネットワークによる健全育成事業(8地区実施) ・各種団体による健全育成事業(4団体実施) ・家族イベント等にて青少年に体験活動実施 ・推進大会、かつやまっ子応援ネットワーク全体会にて7つのルール of the 普及や市民総ぐるみの活動報告、 年2回の広報紙発行による市民への取り組みの周知</p>	<p>青少年健全育成推進事業の普及(区長会にて内容説明、ホームページ・広報紙にて周知) 勝山市7つのルールの普及(各小中学校でのポスター掲示徹底・引き続き推進大会等にて周知・広報紙掲載にて周知する)</p>	

重要業績評価指標

達成  未達成  判断時期未到来 

指標名	項目	令和3年度(基準値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	実績推移グラフ	達成度	委員の意見
地域についての意識調査で、児童生徒(小3~中3)が「今住んでいる地域をより住みやすいように変えることができると思いますか」の肯定的回答の割合(%)	目標値	—	60	65	70	75	80		未達成	
	実績値	58.6	50.3							
人口100人当たりの本の貸出冊数(冊)	目標値	—	目標年次までの期間毎年510冊以上						未達成	
	実績値	449.8	473.4							



政策目標 3

教育連携を通して社会で活躍できる人材を育むまち

No	施策名	担当課	内容・実績(令和4年度)	課題と対応策(令和5年度以降)	委員の意見
35	高等教育機関等を誘致	未来創造課	福井県立大学恐竜学部(仮称)の令和7年4月開学に向け、勝山市役所庁内関係各課の職員から構成される県立大学新学部準備室を創設した。県立大学新学部準備室では、市内に住むことになる学生の生活環境への支援策、市内の住宅整備などについて福井県、福井県立大学と協議を行った。	福井県立大学恐竜学部(仮称)の令和7年4月開学に向け、市内に住むことになる学生の生活環境への支援策、市内の住宅整備などについて引き続き検討する。県立大学新学部準備室の打合せを定期的に行い、各種補助金交付要綱の制定に向けて準備を進める。	
36	効果的な中高連携教育の推進	教育総務課	<p>【連携型中高一貫教育を生かした特色ある教育内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝山市立中学校建設基本計画で5つの特色ある教育内容を謳った ①探究的な学習 <ul style="list-style-type: none"> ・勝山高校の探究学習との連携、「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」に根ざした探究学習の充実・深化 ②高校教員によるサポート授業 <ul style="list-style-type: none"> ・高校教員が中学校の授業に参加し接続指導や発展的な学習を実施 ③ライフデザインタイム <ul style="list-style-type: none"> ・自分の将来を考える機会を充実させるために「ライフデザインタイム」の時間を設定したキャリア教育の推進 ④生徒主体で進める学校行事・特別活動・部活動 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自らが企画し運営する活動の推進 ⑤ICT環境の充実と効果的活用 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル活用力の向上と「デジタル・シティズンシップ教育」の推進 	<p>【特色ある教育内容の具現化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①探究的な学習の流れ ②サポート授業に「至るまでの中高の授業連携 ③ライフデザインタイムに関する各中学校の取り組み ④各中学校と中高の生徒会の連携 ⑤タブレット端末を利用した交流活動の実施 	
37	県立大学と市内小中高校との連携体制の構築	教育総務課	中学校において、県立大恐竜学部開設に向けた出前授業を開催した。学部開設の説明だけでなく、研究内容にも触れ、勝山市の発展にどうつなげていくかを考える機会となった。	小中高の連携を図った探究的な学習を充実させていく中で、勝山市の特有の教材である恐竜について深く学ぶ機会が設定されていなかった。児童生徒にとって身近にある恐竜をもっと効果的に活用していくことができるように、小中高大の連携を図ることができる環境を整えていく。	

重要業績評価指標

達成  未達成  判断時期未到来 

指標名	項目	令和3年度(基準値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	実績推移グラフ	達成度	委員の意見
1校以上の高等教育機関を誘致(校)	目標値	—	目標年次までの期間に1校以上					 	未達成	
	実績値	0	0							

政策分野

4つの「守る」 福祉・健康

政策目標1

いくつになっても元気で暮らせるまち

No	施策名	担当課	内容・実績(令和4年度)	課題と対応策(令和5年度以降)	委員の意見
38	良い生活習慣の実践に向けた普及啓発の実施	健康体育課	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活改善推進員による普及啓発活動として、実習や試食展示を実施(1,339人)。他教室等17回実施。 ・疾病予防・健康づくりを目的に健康ポイントラリー事業を実施し151人参加。運動の機会を提供する内容の運動教室(10回108人参加)、水中運動教室は9教室(1教室8回)、延べ1,102人参加。 ・個人にあった運動指導を受けられる個別プログラム運動教室を実施。23回、計114人参加。 ・健診受診率向上の取組みとして、個別の郵送や電話等による受診勧奨、再勧奨を実施。特定健診では目に留まりやすい工夫として圧着用紙により通知を行い、受診者数の増加につながった。 ・歯科保健において、子供の虫歯予防講座1回、歯周病予防講座1回実施。無料歯科健診として、40～65歳の5歳刻みの節目年齢の方に実施した(受診率7.4%)。 ・飲酒に関しては、教室や相談などの機会をとらえて啓発を行った。 ・禁煙教育として、禁煙外来の紹介や妊婦及び同居家族に対して禁煙指導を実施。 ・無料ストレス相談を実施(12回11件)。相談先の案内を記載した「こころのお守り」を配布(3,000部)。ゲートキーパー研修を実施(1回50人参加)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教室への参加者の固定化や健診がん検診受診率の向上が課題となっている。機会をとらえて、良い生活習慣の実践に向けた普及啓発活動を行っていく必要がある。 	
39	地域の医療体制を維持	健康体育課	<ul style="list-style-type: none"> ・個別健診の案内通知や機会をとらえてかかりつけ医を推進した。 ・医療人材確保事業申請者2名。 ・妊産婦の支援として、妊産婦医療費の助成(利用者97件)、妊産婦バス無料券交付(4件)、福井勝山総合病院での妊婦健診利用促進のため、にこにこ妊婦奨励金事業(利用者63件)を実施。 ・休日の診療を行う在宅当番医制事業を勝山市医師会に委託し実施(利用者950人)。福井勝山総合病院との連携として随時情報交換を行った。広報JCHOコラム掲載6回実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元でかかりつけ医を持つ人を増やす必要がある。継続してかかりつけ医を持つ必要性について啓発活動を行っていく。今後も勝山市医師会や福井勝山総合病院との連携し、地域の医療体制を維持していく必要がある。 	
40	感染症予防対策を強化	健康体育課	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチン接種を実施、接種回数約5万回。医療従事者への支援として防護服、マスク、消毒液の配布を行った。 ・小児及び高齢者の定期予防接種の実施、風しん抗体検査および風しん予防接種、子宮頸がん予防ワクチンのキャッチアップ接種、任意接種償還払いを実施した。がん検診に合わせ結核健診を実施した。 ・災害対応として、住宅浸水地へ消毒液を配布した。随時広報において、感染症予防対策等の周知を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も予防接種をはじめ、感染症予防対策について情報提供等、普及啓発を強化する必要がある。 	
41	効果的な保健事業による健康づくり活動を支援	健康体育課	<ul style="list-style-type: none"> 保健推進員及び食生活改善推進員の育成として地域活動の支援を行った。推進員や協定企業等と連携し健康づくりイベントを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域における健康づくり活動の担い手の確保が課題となっている。健康づくり活動の必要性について、地域と協力し働きかける必要がある。 	

重要業績評価指標

達成  未達成  判断時期未到来 

指標名	項目	令和3年度(基準値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	実績推移グラフ	達成度	委員の意見
市民アンケートにおける「健康ポイントラリー」に参加している人の割合(積極的に参加、ときどき参加の合計)(%)	目標値	—	—	7.0	—	—	10.0		判断時期未到来	
	実績値	3.9	—	—	—	—	—			
市民アンケートにおける「健康ポイントラリー以外の市が主催する健康づくり教室等」に参加している人の割合(積極的に参加、ときどき参加の合計)(%)	目標値	—	—	11.0	—	—	15.0		判断時期未到来	
	実績値	7.9	—	—	—	—	—			

政策目標 2

スポーツを楽しみ健康な心身を育むまち

No	施策名	担当課	内容・実績(令和4年度)	課題と対応策(令和5年度以降)	委員の意見
42	誰もが楽しく取り組める生涯スポーツの普及	健康体育課	・各地区やPTA行事などで開催されたニュースポーツ体験会、合計3件にスポーツ推進委員を指導者として派遣した。 ・高齢者を中心に体力測定を行い、97人が参加。測定結果などから生涯スポーツの呼びかけを行った。	スポーツを始めるきっかけとなりやすい、ニュースポーツ体験会の開催回数が増えるように、地区等に呼びかけを強化する。	
43	気軽に参加できるスポーツ教室および大会の実施	健康体育課	・勝山恐竜クロカンマラソンは、37部門で実施し、マラソン1,261名、ウォーキング183名、合計1,444名(うち、市民351名)の参加があった。4年振りの開催となった。 ・泳ぎが上手になる水泳教室は、3日間開催し、18人の参加があった。カヌー体験教室は、大雨災害のため中止となった。 ・多くの市民が気軽に参加できるスポーツライフ事業として、ニュースポーツ祭inかつやまのほか、伝統的な市内駅伝競走大会、青少年バドミントン大会、青少年卓球大会、少年少女水泳記録会、少年少女スキー大会を開催した。	・勝山恐竜クロカンマラソンの参加人数が増えるように、魅力を高めるとともにPRを強化する。 ・泳ぎが上手になる水泳教室及びカヌー体験教室を小学生を対象に実施しているが、恒例行事として工夫し、参加者の増加を図る。 ・スポーツライフ事業を確実に実施する。	
44	スポーツへの興味関心を高めるための取り組みを実施	健康体育課	・市民体育大会として、地区対抗の部11競技中9競技実施、普及の部13競技中12競技を実施し、のべ1,331名の参加があった。 ・競技力の向上を図るため、市スポーツ協会を通して強化事業を実施し、7競技、132名が参加した。県民スポーツ祭市町対抗の部に241名が出場。全国大会・国際大会に112名が出場し激励した。 ・市スポーツ協会に加盟している競技団体、地区体育協会、小学校体育連盟、中学校体育連盟、スポーツ少年団の活動を支援した。	・市民体育大会を実施し、各種スポーツ競技の普及と競技力向上を図る。 ・さらに、強化事業の競技種目を拡大し、上位を目指している選手の競技力向上を強化し、県民スポーツ祭への出場を増やすとともに、全国大会、国際大会への出場、成績の向上につなげる。 ・さらに、市スポーツ協会に加盟している競技団体、地区体育協会の活動支援を強化する。	
45	市民がスポーツを気軽に親しめる環境の充実	健康体育課	・林業健康トレーニングセンターの大規模改修、市庭球場の人工芝化と備品整備を行い、生涯スポーツができる環境整備をした。 ・ジオアリーナ87,355人、温水プール38,718人、B&G海洋センター11,835人、林業健康トレーニングセンター3,136人の利用があった。	体育施設を適正に維持管理し、生涯スポーツができる環境を整備し、利用者増を図る。	

重要業績評価指標

達成  未達成  判断時期未到来 

指標名	項目	令和3年度 (基準値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	実績推移グラフ	達成度	委員の意見
高齢者体力測定におけるB 判定以上の人の割合	目標値	—	54.0	55.0	56.0	57.0	58.0		未達成 	
	実績値	53.5	37.5							
市民アンケートにおける勝山市体育館「ジオアリーナ」を月1回以上使用している人の割合(週1回以上、月2～3回程度、月1回程度の合計)(%)	目標値	—	—	15.0	—	—	20.0		判断時期未到来	
	実績値	10.9	—							
市民アンケートにおけるジオアリーナ以外の体育館を月1回以上使用している人の割合(週1回以上、月2～3回程度、月1回程度の合計)(%)	目標値	—	—	10.0	—	—	15.0		判断時期未到来	
	実績値	5.4	—							
市民アンケートにおける市営温水プールを月1回以上使用している人の割合(週1回以上、月2～3回程度、月1回程度の合計)(%)	目標値	—	—	6.0	—	—	10.0		判断時期未到来	
	実績値	3.1	—							

政策目標 3

住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるまち

No	施策名	担当課	内容・実績(令和4年度)	課題と対応策(令和5年度以降)	委員の意見
46	障害者の日常生活および社会生活を総合的に支援	福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・奥越地区障害者自立支援協議会として、相談支援体制化の研修会を実施し、その強化の重要性について認識を深めた。 ・勝山市障害者生活支援センターにて、障害のある就労希望者やニートなどに対し、ハローワークや障害者職業センター、障害者就業・生活支援センターなどの関係機関の紹介や福祉就労の利用等、就労に向けた支援を行った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ交流会や文化活動に対する支援をすることはできなかったが、第8回アール・ブリュット展(県内障害者の作品展)における入賞作品展を市教育会館で開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における相談体制の強化は国の施策でもあり必須の状況。近い将来に「地域生活拠点」と「基幹相談支援センター」を設置する。現在、大野市と協議をしており、奥越圏域としての整備を目指す。なお方向性については、令和6年3月作成予定の「第7期勝山市障害福祉計画」に記載する。 ・勝山市障害者生活支援センターで地域活動、就労支援の相談をうけ、関係機関と連携をする必要はあるが、障害者施設の人手不足は深刻であり、就労等の障害者支援のための相談員の確保が困難になりつつある。 ・令和5年度は、障がいのある方のスポーツ交流会(ポッチャ:10/1実施)を行う予定であるが、勝山市には障害者の連合会がなく、また個々の障害者施設では運動会等を実施しているため、市全体としてのスポーツ・文化等の交流会のニーズが把握できていない。健常者との交流会も含めた方向性を検討すべき状況にある。 	
47	高齢者や障害者など様々な人の暮らしを支援	健康体育課	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防教室を実施。いきいきサロン(54回)、はつらつ教室(87回)、出前介護予防教室(14回)、アンチエイジング講座(16回)。 ・地区サロン等でフレイル予防教室の継続実施(2地区)。 ・新規で遠隔指導型フレイル予防事業をジオアリーナおよび平泉寺まちづくり会館にて実施(計48名参加)。 ・健康長寿! 一番体操教室(6地区)の継続実施。 ・高齢者総合相談の実施。(相談実績1024件) ・認知症cafeを実施(2会場・22回)。同じような悩みをもつ者同士が意見交換や交流できる場として実施。 ・地域における認知症の正しい理解の普及のため、認知症サポーター養成講座を実施。(12回、197人受講)。 ・見守りが必要な方への支援として、勝山市見守り事前登録(登録者累計41件)、勝山市見守り事業(登録者累計20件)を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が健康を維持して暮らすことができるよう、閉じこもりや体力低下の予防に繋げていくため、介護予防教室やフレイル予防教室を継続していく必要がある。R4に新規に開始した遠隔指導型フレイル予防事業は、同時に複数会場での実施が可能であるため、複数のまちづくり会館等で教室を開催し、多くの高齢者がフレイル予防に取り組めるようにしていく必要がある。 ・高齢者の相談内容が多様化しており、より困難なケースも増えている、各関係機関との連携を強化し、適切な相談対応及び支援が求められる。 ・高齢化率増加に伴い、認知症の方も増加する中、地域での見守りや支援が求められる。「認知症になっても大丈夫だよ」と言える偏見なく認知症の方や家族をささえることができる地域づくりが求められる。 	
48	高齢者介護体制の充実	健康体育課	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員からの相談対応(22件) ・地域見守り活動協定事業所との見守り連携(2件) ・在宅医療・介護の連携の課題の抽出と対応策の検討として、居宅介護支援事業所代表者会議(4回)、事例相談会・ミニ講座(3回)、地域ケア個別会議(4回)を実施。在宅医療と介護を一体的に提供できるよう医療機関と介護事業所等の連携として多職種連携研修会(2回)を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者、一人暮らし等の高齢者世帯が増加している。ご近所や民生委員、地域の事業所等、地域での見守りの視点や連携を継続していくことが求められる。 ・医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしく生活続けられるよう、在宅医療と介護を一体的に提供していくため、関係者の連携を推進し、多様化する高齢者ニーズに対応・支援していくことが求められる。(居宅介護支援事業所代表者会議、事例相談会・ミニ講座)、地域ケア個別会議、多職種連携研修会の実施。) 	
49	公的賃貸住宅の適切な供給	営繕課	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅に困窮する低額所得者に対して、低廉な家賃の市営住宅への入居を実施。 【 令和4年度市営住宅入居戸数：7戸 】 ・市内に居住し又は居住しようとする者で住宅に困窮している者に対して、定住支援を目的とした定住促進住宅への入居を実施。 【 令和4年度定住促進住宅入居戸数：5戸 】 	<ul style="list-style-type: none"> 市内で住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とした市営住宅9団地(123戸)の維持管理及び、市内に居住し又は居住しようとする者で住宅に困窮している者に対して、定住支援を図ることを目的とした定住促進住宅79戸の維持管理を行う。 ○ 原状回復の修繕(畳や襖の張替え、床・壁・天井の修復、水周り設備の取替等)を実施 ○ 市営住宅の住環境の改善に向けた設備等の更新・追加 	

重要業績評価指標

達成  未達成  判断時期未到来 

指標名	項目	令和2年度(基準値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	実績推移グラフ	達成度	委員の意見
要介護認定率	目標値	—	18.0以下	18.0以下	18.0以下	18.0以下	18.0以下		達成	
	実績値	17.8	17.5							
市民アンケートにおける「障害者が安心して暮らせる社会の実現」に満足している人の割合(満足、どちらかといえば満足の合計)(%)	目標値	—	—	21.0	—	—	25.0		判断時期未到来	
	実績値	17.0	—	—	—	—	—			

No	施策名	担当課	内容・実績(令和4年度)	課題と対応策(令和5年度以降)	委員の意見
50	勝山の魅力(歴史・民俗・自然等)を感じる観光プログラムの開発	商工文化課	日本遺産「福井・勝山石がたり」を題材に、国史跡白山平泉寺旧境内や旧城下町での体験プログラムを構築し、モニターツアーを実施した。また、それを受けて日本遺産フェスティバルを11月に開催した。まほろば・ゆめおーれでの企画展、勝山城博物館との共催展を計7回開催し、勝山の魅力を市内外に発信した。これらの展示を開催するにあたり、調査・研究を実施し、その成果を講演会等でも発表した(計5回)。	モニターツアーで実施した日本遺産体験プログラムが継続的に実施できるように、引き続き、事業者への助言を行っていく。企画展・講演会・調査・研究の成果は、これまで記録されることが少なく、十分に公表できていなかったため、今後は定期的に冊子にまとめて広く公表に努める。	
51	体験型・着地型観光プログラムの開発	商工文化課	旧岩屋オートキャンプ場にキャンプ事業を行う事業者を誘致した。「観光再始動事業」や「看板商品創出事業」等の観光庁の補助事業を活用して体験プログラムの開発及び実施する、勝山市観光まちづくり株式会社等の民間事業者への助言、協力を行った。【補助事業活用実績 申請件数=5件、採択件数=1件】	体験プログラムを実施する民間事業者への支援を継続する。また、ホテルハーヴェストやスキージャム勝山の恐竜ルーム、恐竜仕様へとリニューアルした勝山ニューホテルなど、「恐竜のまち勝山」ならではのホテル宿泊を体験プログラムと捉え、観光素材として宣伝していく。	
52	閑散期の誘客拡大	商工文化課	恐竜博物館休館時の閑散期対策として、市内観光関連事業者を集めて、「福井県立恐竜博物館休館対策検討会」を実施。当会議で出た意見を参考に、旅行会社への補助金の創設やイベントの実施など誘客施策を講じた。	勝山市観光まちづくり株式会社と協力しながら、梅雨の時期や11月、12月の閑散期にも実施できるような体験プログラムの開発、実施を行う。	
53	観光営業の強化	商工文化課	・ツーリズムEXPOに参加し、「チーム福井県」としての観光営業を行った。 ・中京圏、首都圏の商談会に参加し、令和5年度の恐竜博物館のリニューアルを中心に観光営業を行った。また、旅行会社への直接訪問を行い、個別具体的な商談を行った。【商談会等参加実績=4回】	平泉寺33年式年祭、かつやま恐竜の森の再整備は、旅行会社の関心度が高いため、これらをフックとしたPR活動を行う。 北陸新幹線福井敦賀延伸や中部縦貫自動車道県内全線開通といった高速交通網の整備が影響するエリア(首都圏、中京圏)を中心に、観光営業を引き続き行う。 動画を得意とする地域おこし協力隊が制作した、各観光施設の動画をプロモーションに有効活用していく。	
54	インバウンドの推進	商工文化課	平成28年に設立された「越前加賀インバウンド推進機構」を中心に、インバウンド観光推進事業を実施。ただし、令和4年度については、新型コロナウイルスの影響を鑑み、トップセールスや出向宣伝は行わず、プログラム開発や英会話セミナーなどの受け入れ態勢整備に注力した。	越前加賀インバウンド推進機構の枠組みは存続し、特にアジア圏に対し、エリア全体での共同プロモーションを継続する。 勝山市観光まちづくり(株)と連携しながら、外国人向けの体験等のコンテンツの開発・拡充を行っていく。	

重要業績評価指標

達成  未達成  判断時期未到来 

指標名	項目	令和3年度(基準値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	実績推移グラフ	達成度	委員の意見
市内宿泊施設における宿泊客数の増加率(基準年度比)(%)	目標値	—	10.0	20.0	30.0	40.0	50.0	● 	達成	
	実績値	63,818人	48.5							
閑散期(6月、12月、3月)の観光入込客の増加率(基準年度比)(%)	目標値	—	3.0	6.0	9.0	12.0	15.0	● 	達成	
	実績値	293,700人	17.7							
観光入込客の増加率(基準年度比)(%)	目標値	—	5.0	10.0	15.0	20.0	25.0	● 	達成	
	実績値	1,390,072人	48.7							



政策目標 2

多様な働き方を選べるまち

No	施策名	担当課	内容・実績(令和4年度)	課題と対応策(令和5年度以降)	委員の意見
55	幅広い業種の企業を誘致	商工文化課	・恐竜渓谷かつやまエリアに進出した事業者と協定を締結し、助成金等の支援を行った。【企業振興助成金指定申請実績=1件】 ・従来の企業振興助成金を改正し、対象業種にデータセンター等の通信業やシェアオフィス等の不動産賃借業を追加し、優遇措置の拡充を図った。 ・福井県の新たな産業団地整備にエントリーし、産業団地整備の可能性を探った。【優先整備自治体に選定されず】	恐竜渓谷かつやまエリアについて、地域経済振興会議委員の意見等を聞きながら、条件の緩和などを検討し、企業誘致を進める。	・市として、幅広い業種の企業を誘致したいお考えですが、優先的に誘致したいと考えている業種は、ありますか。 ・「恐竜渓谷かつやまエリア」以外で、企業を誘致するエリアはありますか。
56	サテライトオフィスなどを誘致	商工文化課	・従来の企業振興助成金を改正し、対象業種にデータセンター等の通信業やシェアオフィス等の不動産賃借業を追加し、優遇措置の拡充を図った。 ・地域経済振興会議を開催し、都市部の企業ニーズについて情報収集を図ると共に、有識者を地方創生プロモーターに委嘱し、サテライトオフィス等の企業誘致に向けての意見交換を行った。【地域経済振興会議の開催=4回】	地域経済振興会議での意見等を踏まえ、コワーキングスペースやコミュニティスペースの整備について、市有施設を活用した整備及び民間による空き家等を活用した整備に対する支援など、官民両面で検討を行う。	
57	企業誘致と合わせたU・Iターン者の増	商工文化課	・U・Iターン者に対して家賃や引越し費用等の初期費用の負担軽減に向け、奨励金を交付した。 【U・Iターン奨励金18件790,000円 U・Iターン就職奨励金17件2,220,000円】 ・2拠点従事者等の受入れに興味のある企業に対し、都市部で活躍する人材を講師とした受入れに対する課題解決などのサポートを行った。【勝山づくり人創造推進事業開催実績=参加企業2社】 ・外部人材の受入れに備えた企業や市民向けのハブ人材育成やヒアリング力・思考力の向上を目的とした研修会を開催した。【勝山づくり人創造推進事業開催実績 市民参加者150名】	勝山づくり人創造推進事業や地域おこし協力隊のネットワークを活用しながら、引き続き関係人口の創出を図ることで、移住を促進していく。	・U・Iターン者に対する助成金の案内が、転入時にされている場合とそうでない場合があるように聞きます。また、市内・県外に就職の場合は、転入後数か月たないと申請ができないため、申請を忘れてしまう場合も多いかと思えます。制度をしっかりと活用してもらうために、転入後半年ほどたった時点で改めて助成金の案内をしてはどうでしょうか？
58	U・Iターン者の住まいや仕事探しに向けた住環境の支援	営繕課	定住化促進事業補助金として、40歳以下又は転入者に対して新築住宅取得、中古住宅取得及びリフォームに要する経費の一部を補助した。 【令和4年度補助金実績：6件】	商工文化課で実施している移住・定住支援策と連携しながらターゲットを明確にし、定住化促進事業補助金の周知、活用を促進していく。	

重要業績評価指標

達成  未達成  判断時期未到来 

指標名	項目	令和3年度(基準値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	実績推移グラフ	達成度	委員の意見	
既存公共施設を活用した民間企業の進出数(件)	目標値	—	目標年次までの期間に 3 件以上							判断時期未到来	
	実績値	0	1								
民間資本によるサテライトオフィス等の整備数(件)	目標値	—	目標年次までの期間に 1 件以上							判断時期未到来	
	実績値	0	0								
市の補助制度を活用したU・Iターン者数(増加分)(回)	目標値	—	1	2	3	4	5		達成		
	実績値	0	10								

政策目標 3

事業者の活力あふれるまち

No	施策名	担当課	内容・実績(令和4年度)	課題と対応策(令和5年度以降)	委員の意見
59	デジタル技術の活用を支援	商工文化課	勝山商工会議所でデジタル技術導入のためのセミナーの開催および県補助金の案内を行う。【DXセミナー 参加者10人】	DXセミナーは難しいという意見を受け、より身近なSNS活用から始めるセミナーの開催および県補助金の案内を行う。	
60	意欲ある商工業者を支援	商工文化課	・勝山商工会議所主催で6月に5回に及び創業塾を開催。13名参加。創業塾以外でも個別に創業支援を行い、1事業者の創業につながる。 ・新規創業や事業拡大に意欲のある事業者に対し、市が市内金融機関と行う融資制度を案内。	まちなかで空き店舗等を活用した出店を促進するため、申請者が女性または39歳未満の事業者に対し、補助額を拡充。	
61	既存商工業者への支援	商工文化課	・観光客向けのお土産等の商品開発に対し意欲のある事業者のフォローアップを行う。 ・市と地域商業アドバイザー、勝山商工会議所が連携し、市内事業所のフォローアップを行う。	観光客向けのお土産等の商品開発に対し意欲のある事業者に対し、市と地域商業アドバイザー、勝山商工会議所が連携し、フォローアップを実施。	・お土産の商品開発に関するセミナー、フォローアップ等をされているのは知っていますが、実際に補助制度を活用した商品開発案件がゼロということで、周知やフォローの方法を変えるなどの検討が必要なのではないでしょうか？
62	市内企業と一体となった労働者確保対策の実施	商工文化課	・市内企業と意見交換を実施し、現状把握を行う。 ・WEB企業説明会を大学生に対し実施し、3名が参加し、市内企業就職につなげる。 ・市HPに市内企業情報「いんころ」を掲載。企業情報取得を簡素化。	市内企業を1週間で5社体験できるインターンシップを実施。	
63	飲食事業者のニーズに応じた支援の実施	商工文化課	市内の空き地や空き家を活用した出店に対し店舗に対する工事費や賃借料の一部補助を行う。 【工事費 0件、賃借料 7件1,755,000円】	市内の空き地や空き家を活用した出店者が女性または申請時に39歳以下の場合は補助金額に上乘せを行う。 工事費 100万円→120万円、賃借料 月額5万円→6万円	

重要業績評価指標

達成  未達成  判断時期未到来 

指標名	項目	令和3年度 (基準値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	実績推移グラフ	達成度	委員の意見
市の採用支援施策に参画した市内企業の採用者数(増加分)	目標値	—	1	1	2	2	3		達成	
	実績値	—	10							
空き店舗を活用した創業者数(第二創業を含む)(件)	目標値	—	目標年次までの期間に毎年 3 件以上						判断時期未到来	
	実績値	3	0							
補助制度を活用した商品開発件数(件)	目標値	—	目標年次までの期間に毎年 1 件以上						未達成	
	実績値	—	0							

政策目標 4







活力ある農林水産業が続くまち

No	施策名	担当課	内容・実績(令和4年度)	課題と対応策(令和5年度以降)	委員の意見
64	農業の担い手、新規就農者の確保・育成・支援	農林課	<ul style="list-style-type: none"> ・農業団体や関係機関と連携し地域特産物の振興を促進 <ul style="list-style-type: none"> ○担い手育成部会:担い手サミット開催(10/20-21)、担い手研修(3/3)、○園芸部会:加工小ギク実証圃設置、サトイモ株割り施設の効果確認、○良食味米部会:いちほまれ 栽培環境調査、さかほまれ 作見会、○6次産業化推進部会:サトイモ販売促進、農遊パンフレット作成 <ul style="list-style-type: none"> ○勝山市園芸作物等出荷販売奨励事業補助金1件:117千円 ・農業者の機械および施設の整備等を支援 <ul style="list-style-type: none"> ○儲かるふくい型農業総合支援事業補助金3件:23,309千円 ・中山間地域などの条件不利農地の営農の継続を支援 <ul style="list-style-type: none"> ○中山間総合対策支援事業補助金(営農省力化支援事業)3件:3,861千円、○中山間総合対策支援事業補助金(担い手対策支援事業)3件:15,676千円 ・高収益作物の導入や作物の付加価値向上に対する取り組みを支援 <ul style="list-style-type: none"> ○生分解性マルチ普及推進事業補助金21件:343千円 ・新たな農業の担い手確保・育成を支援 <ul style="list-style-type: none"> ○新規就農者育成総合対策事業補助金(経営開始事業)1件:1,500千円、○新規就農者経営支援補助金(経営発展支援)3件:16,218千円 ・米の消費拡大に向けて食育等を推進 <ul style="list-style-type: none"> ○第4次勝山市食育推進計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ○担い手、後継者の不足 <ul style="list-style-type: none"> 大規模農家の規模拡大、意欲ある農家の大規模化、集落組織の継続・発展、地域での広域連携化、新規就農者の育成・定着、担い手情報の整理 ○生産者米価の低迷 <ul style="list-style-type: none"> 米価変動に強い営農体制の構築、勝山産米の魅力発信 ○サトイモの産地維持 <ul style="list-style-type: none"> 調整施設の整備、中核生産者の育成 ○補助事業の周知 <ul style="list-style-type: none"> 要望事項を受け、年度当初に担い手、新規就農者を対象とした補助事業説明会を実施する。 	
65	担い手への農地の集積・集約化に向けた支援の充実	農林課	<ul style="list-style-type: none"> ・地域農業確立支援事業(機構集積協力金)を活用 <ul style="list-style-type: none"> ○対象集落16地区 補助金 9,769千円 ・地域農業確立支援事業(経営転換協力金)を活用 <ul style="list-style-type: none"> ○対象者8件:803千円 	<ul style="list-style-type: none"> ○中山間地域での担い手の農地集積が進まない <ul style="list-style-type: none"> 農地の集積・集約化の促進に向けて農地中間管理機構の活用をPR。農地中間管理機構、農業会議、農業委員会、JA、農林総合事務所、県等の関係機関が連携して推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地の集積・集約化の促進は良いと思いますが、集約した結果後の耕作放棄地はどのように管理・指導されているのかご教授願います。
66	農業用施設の長寿命化	農林課	<ul style="list-style-type: none"> ・県単土地改良事業補助金を活用し各地区管理の農業用施設改修工事を実施 <ul style="list-style-type: none"> ○実施件数2件:3,209千円 	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年8月発生豪雨災害の復旧工事により工事業者が多忙のため、進捗が進まなかったことから令和5年度以降に対応することとし、進捗の遅れを取り戻す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害が増加・激甚化している昨今対応も大変であると思います。現在の進捗・計画をご教授願いたい。また、農業用施設とはどの施設を対象としているのかご教授願いたい。
67	人材育成と広域的な取り組みによる鳥獣害対策の推進	農林課	<ul style="list-style-type: none"> ・捕獲隊や集落のリーダーの人材育成を支援 <ul style="list-style-type: none"> ○捕獲隊員である猟友会会員の技術向上を図るための研修会への補助の実施(年間285千円) ○集落で農業を営んでいる方や野生動物対応を実施している方を対象に、サルをはじめとした集落の周辺に出没した野生動物を追い払うための花火(煙火)を扱うための講習会を実施 ・近隣市町、県との連携による広域的な取り組みを実施 <ul style="list-style-type: none"> ○市境を超えて行動するサルに対して、県・関係市町・専門家で構成される「サルユニット会議」を組織し、サルの群れに対する方針や対処方法、役割分担を協議した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・捕獲隊や集落のリーダーの人材育成を継続して支援 <ul style="list-style-type: none"> ○捕獲隊員である猟友会会員の技術向上を図るための研修会への補助の実施(年間285千円) ○集落で農業を営んでいる方や野生動物対応を実施している方を対象に、サルをはじめとした集落の周辺に出没した野生動物を追い払うための花火(煙火)を扱うための講習会を実施 ・近隣市町、県との連携による広域的な取り組みを実施 <ul style="list-style-type: none"> ○市境を超えて行動するサルに対して、「サルユニット会議」にて、方針を決定しそれに基づき、生息範囲が重複する群れの全頭捕獲を実施し、生息管理する。 	
68	意欲のある森林経営体への集約化の推進	農林課	<ul style="list-style-type: none"> ・境界が不明確で管理されていない森林の境界調査を推進 <ul style="list-style-type: none"> ○勝山市森林整備地域活動支援交付金 森林境界の明確化(GPS測量)50ha:2,250千円、○森林経営計画作成・森林境界の明確化に向けた条件整備25ha:1,000千円 ・意欲のある森林経営体へ森林管理の集約化を推進 <ul style="list-style-type: none"> ○森林経営管理意向調査等業務 2,548千円 ・林道管理団体等への保全支援、森林経営体への高性能機械の購入支援、木材の利用推進等を支援 <ul style="list-style-type: none"> ○生産森林組合事業補助金4件:240千円 	<ul style="list-style-type: none"> 境界調査を行う地域は、当初の計画とおり進捗しており、今後も計画に基づいて実施する予定。 森林を森林経営体等に管理を希望している所有者はいるが、所在地がバラバラで集約できる状態ではない。今後も意向調査を順次進めていき、集約可能な森林が確認できた際には、意欲ある森林経営体等に紹介していく 令和4年度は高性能林業機械の購入が無かったが、今後購入された際には補助金交付し事業者を支援する 毎年、一定程度の間伐材が発生しており、引き続きは木質バイオマス発電所への搬出に対し支援する 	

No	施策名	担当課	内容・実績(令和4年度)	課題と対応策(令和5年度以降)	委員の意見
69	次世代の林業の担い手確保	農林課	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根付いた次世代の林業従事者の育成を支援 <ul style="list-style-type: none"> ○森林組合作業員退職共済事業補助金 507千円 ・森林・林業への理解醸成を深めるため森林と親しみやすい空間を確保 <ul style="list-style-type: none"> ○森林公園維持管理 ・災害に強く良好な山村景観を次世代に残すための森林保全を支援 <ul style="list-style-type: none"> ○森林景観再生業務 640千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林組合作業員退職共済事業補助や森林公園の維持管理に必要な事業は継続的に実施できており、効果は出ていることから引き続き事業を実施していく ・森林景観再生事業については、県の補助事業が無くなり、市単独事業となっている。現在、片瀬区のみが継続的に事業を行っており、今後も事業の必要性を整理し、事業を進めていく 	
70	鮎を中心とした水産振興の推進	農林課	<ul style="list-style-type: none"> ・遊漁者の増加と鮎釣りの楽しさ、「九頭竜川勝山あゆ」を知ってもらうため、小学3年生以上を対象に先着150人に対し鮎の友釣り体験を無料で実施した。 ・勝山市漁協が鮎の安定的確保のために実施している稚鮎放流の取り組みに対し、経費の一部を助成した。 ・勝山市漁協等で構成される活動組織が実施する河川清掃や草刈り等環境保全の取り組みに対し、経費の一部を助成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「九頭竜川勝山あゆ」の知名度が低い、遊漁者の減少 引き続き鮎釣りの事業を実施し、「九頭竜川勝山あゆ」の魅力を広くPRしていく。また、市民に対する知名度が低いことから、まずは市内小中学の給食に鮎を提供し食べてもらう等、知名度向上を図る事業を実施していく。 	

重要業績評価指標






達成  未達成  判断時期未到来 

指標名	項目	令和3年度 (基準値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	実績推移グラフ	達成度	委員の意見
農業法人の数(組織)	目標値	—	20	21	22	23	24		達成	
	実績値	19	22							
認定農業者及び集落営農組織などの担い手への農地利用集積面積(ha)	目標値	—	1,283	1,290	1,297	1,304	1,310		達成	
	実績値	—	1,294							
多面的機能支払い交付金の取り組み集落数(件)	目標値	—	目標年次までの期間に 71 件以上						未達成	
	実績値	66	68							
鳥獣害による農作物の被害面積の抑制(基準年度の被害面積以内を維持)(ha)	目標値	—	目標年次の期間中毎年3.5ha 以内を維持						達成	
	実績値	3.5	2.4							
森林経営体への集約化率(%)	目標値	—	目標年次までの期間に12.0%以上						未達成	
	実績値	10.0	0.0							
林業従事者数(人)	目標値	—	目標年次までの期間に66 人以上						未達成	
	実績値	63	52							
遊漁券の販売額(千円)	目標値	—	14,601	14,747	14,894	15,042	15,192		未達成	
	実績値	14,457	13,694							

No	施策名	担当課	内容・実績(令和4年度)	課題と対応策(令和5年度以降)	委員の意見
71	災害に対する準備および体制の強化	総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県総合防災訓練を勝山市で開催し、勝山市体育館「ジオアリーナ」への避難訓練、LINEを活用した避難者の受入、避難所の運営訓練を実施した。 ・自主防災組織間の連携を深めるため、勝山市地域防災組織連絡会を設立し研修会を実施した。 ・荒土小学校で防災出前講座を開催した。 ・ハザードマップを更新し、全戸に配布するとともに、各地区の避難訓練等の際に、浸水想定区域、土砂災害警戒区域について周知した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区防災計画制度などの住民向け研修を県と連携し実施していく。 ・地域による避難行動要支援者に対する見守り活動などの取り組みを支援するため、個別支援計画の作成を検討していくとともに、まちづくり会館を防災拠点とし、平時から自主防災組織や民生委員と連携していく。 ・災害発生時の情報伝達手段の多様化・多層化するため、緊急メールの多言語化、SMSへの発信を可能とするなど機能強化を進めるとともに、今ある伝達手段を周知し、登録者を増やしていく。 ・非常用物資の備蓄を推進するため、今まで一度きりだった自主防災組織「備品購入事業」補助金を5年経過後であれば再び申請ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区防災計画制度の研修はどこでいつ実施また予定かご教授願いたい。 ・要支援者個別支援計画の作成はどこまですすんでいるかご教授願いたい。 ・勝山市地域防災組織連絡会を設立し研修会を実施した後の活動実績をご教授願いたい。 ・ハザードマップの全戸配布は分かるが各地区の避難訓練等の際に、浸水想定区域、土砂災害警戒区域について周知したとありますがどの様な周知をされたのか具体的にご教授願いたい。 ・多くの防災士を養成したのであれば、防災士に啓発・周知して頂き自主防災組織の向上につなげることも重要なのではないのでしょうか。
72	積雪時における安全で安心できる除排雪体制の確保	建設課	<ul style="list-style-type: none"> 除雪活動助成事業において促進を促し、新たに3自治区と2地域コミュニティの取組申請があり、事業の拡大を図れた。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き除雪活動助成事業による支援、除雪が遅れる地区の除雪機械の増強等の対応を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な増強等をご教授願いたい
73	住宅の改修を支援	営繕課	<ul style="list-style-type: none"> ・地震による建築物等の倒壊から市民の生命、身体及び財産を保護するため、旧耐震の木造住宅(伝統的な古民家を含む)の所有者が耐震診断及び補強プランの作成又は耐震改修工事に要した費用の一部を補助した。【令和4年度耐震診断補助件数：3件】 ・地震災害によるブロック塀等の倒壊に伴う被害防止と避難経路確保のため、避難路に面する危険ブロック塀等の除去に係る費用の一部を補助した。【令和4年度ブロック塀解体補助件数：2件】 ・勝山市内民間建築物のアスベスト使用実態を把握し、アスベストによる市民の健康被害の未然防止を図るため、アスベストの含有の有無等に係る調査に要する経費の一部を補助した。【令和4年度アスベスト調査補助件数：2件】 ・屋根雪降ろしの負担を軽減し、雪に強く少子高齢化社会に対応した安全で安心して暮らせる住環境整備の促進のため、住宅の屋根融雪装置等に要する経費の一部を補助した。【令和4年度克雪住宅補助件数：16件】 	<ul style="list-style-type: none"> ・地震による建築物の倒壊等の被害から市民の生命、身体及び財産を保護するため、旧耐震の木造住宅(伝統的な古民家を含む)の所有者が耐震診断及び補強プランの作成又は耐震改修工事に要する経費の一部を補助。 ・屋根雪降ろしの負担を軽減し、雪に強く少子高齢化社会に対応した安全で安心して暮らせる住環境整備の促進のため、住宅の屋根融雪装置等に要する経費の一部を補助。 ・地震災害によるブロック塀等の倒壊に伴う被害防止と避難経路確保のため、避難路に面する危険ブロック塀等の除去に係る費用の一部を補助。 ・勝山市内民間建築物のアスベストの使用実態を把握し、アスベストによる市民の健康被害の未然防止を図るため、アスベストの含有の有無等に係る調査に要する経費の一部を補助。 ○ 補助金制度の周知を引き続き実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅の改修を支援の課題と対応策で地震災害によるブロック塀等の倒壊に伴う被害防止と避難経路確保のため、避難路に面する危険ブロック塀等の除去に係る費用の一部を補助は、「9月26日朝、福井県鯖江市で、通学途中の小学生が倒れてきた住宅のブロック塀に足を挟まれ、骨を折るなどの大けがをした」と有ることから自己申告による補助だけでなく点検費用も補助して一斉に実施することも重要なのではないのでしょうか。
74	空き家等の減少に向けた対策の強化	営繕課	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家流通促進を目的とした無料相談会を実施した。 令和4年9月23日・・・道の駅「恐竜渓谷かつやま」駐車場で実施 ・空き家情報バンクにおいて、市内の住宅情報を提供 ・管理不全な空き家等の所有者に対し助言または指導等を実施 ・地域の安全性向上のため、市内における防災、防犯上危険な老朽空き家の撤去の費用の一部を補助した。【令和4年度解体補助件数：5件】 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家流通促進を目的とした無料相談会を実施する。 ・空き家情報バンクにおいて、市内の住宅情報を提供する。 ・管理不全な空き家等の所有者に対し助言または指導等を実施する。 ・地域の安全性向上のため、市内における防災、防犯上危険な老朽空き家の撤去の費用の一部を補助する。 ○ 空き家の適切な管理等に係る周知を実施。 ○ 補助金制度の周知を引き続き実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災、防犯上危険な老朽空き家について、所有者との連絡が取れない場合や、所有者が対応を取らず周辺の住民が不安を覚える場合には、勝山市としてはどのような対応を取られるのでしょうか？
75	火災予防対策の強化	消防署	<ul style="list-style-type: none"> 9件の火災のうち、住宅火災が3件あった。数値目標である10件以下は達成された。 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅用火災警報器の更新指導と、高齢者防火対策を更に推進させ焼死者ゼロを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・火災予防対策の強化の内容・実績で数値目標である10件以下は達成されたとあるが農業関係の野焼きについての対策についてご教授願いたい
76	消防体制の充実	消防署	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の消防車両、救急車両の更新はなし。 ・令和4年度消防水利施設新設はなし。(私設1基あり) 消火栓4基移設又は更新、消火栓標識5式更新。 ・自衛消防隊可搬式小型動力ポンプの更新 2地区 各地区自衛消防施設の更新等の補助を実施。 ・広報かつやまに消防団の記事の掲載と入団促進ポスターを作成し各地区で掲示した。 ・令和4年度消防団員数292名であった。 ・消防団員の処遇改善を図るため年額報酬額を増額し支給した。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度以降の更新計画の見直しを図った。 消防水利施設設置場所の確保に向けた選定。 目標値の団員数の確保を維持する。 消防団員の処遇改善を図るため出勤報酬の額を増額する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防体制の充実の内容・実績で令和4年度消防団員数292名の年齢構成と昼間所在地状況をご教授願いたい。
77	救急体制の充実	消防署	<ul style="list-style-type: none"> 普通救命講習 76名 上級救命講習 2名 救急講習会 588名 計 666名 受講 ・ホームページ、講習会での周知、ポスター、チラシの配布。 ・各種救急隊向けの講習会、救急隊員の症例検討会への参加。 ・福井勝山総合病院医師による専門的研修会の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ過で講習開催の制限があった。 制限をかけずに救急講習会を広くホームページ等で周知し、受講してもらう。 頻回の救急要請者への対応⇒関係機関への相談(市福祉、保健所等)。 全国規模の研修会への参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・救急体制の充実の内容・実績で救急講習会の報告もなされているが、民生委員を通じて「緊急医療情報キット」が希望者のみに配られていると伺っています。今後増加している独居者(昼間も含む)や要支援者名簿記載者への対応として希望の有無を問わずに配布し、自主防災組織に備え付けの指導実施と年に1回の点検を防災の日などに実施するようにはいかがでしょうか。

重要業績評価指標

達成  未達成  判断時期未到来 

指標名	項目	令和3年度 (基準値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	実績推移グラフ	達成度	委員の意見
消雪施設の整備延長(km)	目標値	—	19.3	19.5	19.7	19.9	20.1		達成	
	実績値	19.1	19.3							
市民アンケートにおけるお住いの区での消防・防災訓練に参加している人の割合(積極的に参加、ときどき参加の合計)(%)	目標値	—	—	42.0	—	—	50.0		判断時期未到来	
	実績値	—	—							
旧耐震基準時に建てられた木造住宅の耐震診断及び補強プランの作成に伴う費用に対して補助した件数(件)	目標値	—	目標年次の期間中毎年10件以上						未達成	
	実績値	8	6							
防災、防犯上危険な空き家の解体工事について、その費用を補助した件数(件)	目標値	—	目標年次の期間中毎年5件以上						達成	
	実績値	10	5							
火災件数(件)	目標値	—	目標年次の期間中毎年10件以下						達成	
	実績値	8	9							
普通救命講習およびAED※を含む救急講習受講者数(人)	目標値	—	目標年次の期間中毎年1,200人以上						未達成	
	実績値	535	666							
消防団員の実員数(人)	目標値	—	目標年次の期間中毎年290人以上						達成	
	実績値	292	292							




政策目標 2

安全で快適な生活環境が維持された住みやすいまち

No	施策名	担当課	内容・実績(令和4年度)	課題と対応策(令和5年度以降)	委員の意見
78	生活環境の汚染を防止	市民課	・毎年の河川水(採水箇所8か所)や地下水(3か所)の水質検査の実施。令和4年度は、国道157号沿い地区の騒音測定を実施。 ・狂犬病発生予防のため、集団接種を実施した。(R4年度実績 842頭)	令和5年度以降も定点での定期的な水質検査を実施する。また、令和4年度から6年度にかけて、順次必要箇所での騒音測定を行う。 令和5年度以降、引き続き狂犬病予防接種について、広報や集団接種を行う。	
79	防犯体制の充実	総務課	①防犯カメラ設置支援事業補助金 補助率:2/3(うち県1/3) 1台あたり10万円上限、かつ、1区あたり100万円上限 【4地区:薬師神谷、大渡、新保、浄土寺に計600,000円を交付】 ②公衆街路灯設置等補助金 補助率:1/2 LED器具1台あたり上限28,000円、ポール1本あたり上限25,000円 【39件 計838,100円を交付】 ③公衆街路灯電気料補助金 公衆街路灯電気料の年間支払額の1/2 【114件 計3,159,000円を交付】	令和5年度も引き続き当該補助事業を継続。 防犯カメラ設置支援事業については、福井県安全安心まちづくり補助金の補助対象拡充を受けて、当該事業も拡充する予定である。	・防犯体制の充実の防犯カメラ設置支援事業補助金は敷居が高い。安価な物(近年の空き巣の増加を考えると)でもよいので各家庭で取り付けられるような補助も重要ではないでしょうか。
80	安全で快適な公共交通体系の構築	未来創造課	業者との打ち合わせを実施、チョイソコ等の乗り合い送迎サービスの導入を検討	・免許の自主返納者支援事業(バス無料乗車券)の手続きを、警察署で行えるようにする等申請者の利便性向上を目指す。 ・デマンドバスの継続他、引き続き業者等を打ち合わせなどを行い、新しい交通システム導入を検討。	
81	交通安全対策の推進	市民課	・四季の交通安全県民運動に合わせて早朝一斉街頭指導・広報車による広報活動を実施 ・幼児と教諭に対して春・秋・冬に幼児交通安全教室を実施	引き続き街頭での交通指導・広報活動を実施。特に自転車ヘルメット着用率アップに向けた活動を実施。 交通安全教室の実施	
82	消費者教育の推進	市民課	・学校授業やふれあいサロンほかの講座を実施。(R3年度 63件、R4 52件) ・毎月発行の広報などで啓発記事を掲載している。	教育啓発活動の対象拡大及び関係機関との連携を進めていく。	

重要業績評価指標

達成  未達成  判断時期未到来 

指標名	項目	令和2年度 (基準値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	実績推移グラフ	達成度	委員の意見
市民アンケートにおけるバスの利用頻度(ほぼ毎日、週1回以上、月2から3回程度、月1回程度以上利用する割合の合計)(%)	目標値	—	—	5.0	—	—	10.0		判断時期未到来	
	実績値	3.6	—		—	—				
運転者年齢別交通事故(人身事故)発生件数(60歳以上)(人)	目標値	—	8	7	6	5	4		達成	
	実績値	9	8							
消費者教育・啓発を受けた経験がある人の割合	目標値	—	目標年次の期間までに70.0%以上						未達成	
	実績値	50.0	63.0							

政策目標3 地球にやさしく環境意識が高いまち

No	施策名	担当課	内容・実績(令和4年度)	課題と対応策(令和5年度以降)	委員の意見
83	ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組みを強化	未来創造課	・ゼロカーボンシティ戦略推進会議の開催とゼロカーボンシティの実現に向けた計画策定のための事前調査を行った。 ・市内企業や市職員を対象にした講演会「省エネ・脱炭素経営セミナー」を開催。(参加者18名)地球温暖化問題の現状や脱炭素に取り組む意義、国や県のなど地球温暖化対策について学んだ。	・ゼロカーボンシティの実現に向けた計画策定に取り組む。 ・勝山市の脱炭素社会の実現に向けた取り組みについて市民への周知を図るため、市民向け講演会や学校向けのPR事業を実施する。 ・市内公共施設等への電気自動車の充電ステーションの設置について検討する。	
84	ごみの分別および減量、リサイクルを促進	市民課	・市公式LINEアカウントにおいて、ごみの分別方法をチャットで調べられたい、ごみ収集日をお知らせするシステムを導入し、市民のごみ減量に対する意識の向上、廃棄物の適正な処理の推進を図った。 ・古紙等の集団回収の促進に努めた。(R3実績 607,000kg、R4実績 955,400kg)	ごみ減量意識の向上に向けた広報の実施方法の検討のほか、古紙等の回収増に向けた広報やプラスチックごみの分別回収の実施。	・ごみの分別および減量、リサイクルを促進の内容・実績で市公式LINEアカウントにおいて、ごみの分別方法をチャットで調べられたいする機能にAIカメラで検索する方法があるともっと便利かもしれない。
85	景観の保全	建設課	推進地区内の平泉寺区景観形成地区にて2件、推進地区外にて2件の景観整備事業に対する補助を実施し、良好な景観の保全・形成を図った。	推進地区外にて1件の景観整備事業に対する補助を実施し、良好な景観の保全・形成を図る。	

重要業績評価指標

達成  未達成  判断時期未到来 

指標名	項目	令和2年度 (基準値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	実績推移グラフ	達成度	委員の意見
市民アンケートにおける「省エネルギーや再生可能エネルギーの利用促進による低炭素社会の構築」に満足している人の割合(満足、どちらかといえば満足の合計)(%)	目標値	—	—	20.0	—	—	30.0		判断時期未到来	
	実績値	11.0	—		—	—				
1人1日当たりごみ排出量(g/人・日)	目標値	—	—	—	—	—	800		判断時期未到来	
	実績値	903	—	—	—	—				
ごみの総量におけるリサイクル率(%)	目標値	—	—	—	—	—	24.8		判断時期未到来	
	実績値	21.6	—	—	—	—				
勝山市歴史的まちなみ景観創出事業補助金の交付件数(件)	目標値	—	150	152	154	156	158		達成	
	実績値	148	152							

政策目標 4

安心して快適に暮らせる都市基盤が維持されたまち

No	施策名	担当課	内容・実績(令和4年度)	課題と対応策(令和5年度以降)	委員の意見
86	安全な水の安定供給の維持	上下水道課	<ul style="list-style-type: none"> 重要給水施設へ向かう配水管の布設替え工事に合わせて管の耐震化を実施した。 立川・若猪野水源を送水ポンプ分解整備、立川水源第2号井取水ポンプ取替、立川第2水源第5号井電気設備・機械設備工事、若猪野水源No.2取水井水位計更新、薬師神谷水源無停電電源装置等復旧工事等を実施。また、令和4年8月の大雨被害対応として、谷水源導水管等仮設工事を実施。 中期財政見直しを作成し経営状況を確認 	<ul style="list-style-type: none"> 重要給水施設へ向かう配水管の布設替え工事に合わせて管の耐震化を計画的に実施する 水源の適切な管理のため、立川水源の取水ポンプ・送水ポンプの更新、法恩寺浄水場の1系逆洗弁修繕等を計画的に実施する 中期財政見直しを作成し経営状況を確認する 	
87	水処理施設の効率的な更新	上下水道課	<ul style="list-style-type: none"> し尿受け入れ施設基本設計業務を実施 下水管渠の現状調査は、令和4年度は実施しないが、令和5年度に合わせて実施予定 伊波第1・第2汚水中継ポンプ所ポンプ取替、大袋第1汚水中継ポンプ所ポンプ取替、保田出村第2汚水中継ポンプ所ポンプ取替、保田第2汚水中継ポンプ所制御盤改修を実施 大蓮寺川バイパス幹線整備工事・分流柵設置工事を実施 中期財政見直しを作成し経営状況を確認 令和6年度からの公営企業法適用化に向け企業会計システムを整備 	<ul style="list-style-type: none"> し尿受け入れ施設実施設計業務を実施する 下水管渠現況調査を令和4年度分を含めて実施する。 下水処理施設の計画的な改築・更新のため、保田出村第1汚水中継ポンプ所、保田出村第2汚水中継ポンプ所、西遅羽口第1汚水中継ポンプ所、高島第1汚水中継ポンプ所等のポンプ取替等を計画的に実施する。 三谷川浸水対策事業として大蓮寺バイパス幹線整備工事を実施する。 中期財政見直しを作成し経営状況を確認する。 条例改正や開始貸借対照表の作成、打ち切り決算等を行い、令和6年4月からの公営企業法適用化に向けた最終確認等を実施する。 	
88	社会資本の適切な維持管理	建設課	<p>勝山市公園施設長寿命化計画に基づき、立川第1公園および、元禄公園において、老朽化したフェンスの改修を行った他、長山公園、滝波公園、南部第2公園、南部第4公園、立川第2公園、荒土公園、新保第1公園にて遊具や倉庫等の塗装の修繕を行った。また、パトロールや通報等により確認された公園トイレ等の漏水修繕、外灯修繕を実施し、公園利用者の安全性、利便性の向上を図った。</p>	<p>勝山市公園施設長寿命化計画に基づき、滝波公園、立川第2公園において、老朽化したトイレの改築を行う他、元禄公園、昭和町公園、あさひ公園、北部第2公園、北部第3公園にて遊具や倉庫等の塗装の修繕を行う予定。また、パトロールや通報等にて確認された公園トイレ等の漏水修繕、外灯修繕を実施し、公園利用者の安全性、利便性の向上を図る。</p>	
89	計画的な都市基盤の整備	建設課	<p>勝山市公園施設長寿命化計画に基づき、元町第2公園ほか2公園にて老朽化した遊具の改築を実施。</p>	<p>勝山市公園施設長寿命化計画に基づき、長尾山総合公園において、老朽化した舗装の改修を行う。</p>	

重要業績評価指標

達成  未達成  判断時期未到来 

指標名	項目	令和3年度(基準値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	実績推移グラフ	達成度	委員の意見
水道事業における基幹管路(84,063m)の耐震適合率(%)	目標値	—	14.7	16.0	17.4	19.0	20.3		未達成	
	実績値	13.5	14.1							
下水管渠現状調査(第1期分17,498m)の実施割合(全体調査予定延長51,937m)(%)	目標値	—	21.4	42.8	63.4	81.9	100		未達成	
	実績値	0	0							
橋梁の修繕工事着手数(のべ)(橋)	目標値	—	34	36	37	40	40		未達成	
	実績値	27	31							